

青梅市社会教育委員会議 9 月定例会会議録

令和 2 年 9 月 1 5 日
2 0 5 会 議 室
出席者 委員 9 名
(欠席者 委員 1 名)
事務局 3 名

1 開 会

【議 長】だいぶ涼しさを感じるようになった。新型コロナウイルス感染者が減少傾向とはいえ、終息はまだ見えず、青梅市でも発生している状態。栃木県で、親戚での自宅の会食でクラスターが発生したという話も聞いている。飲食は本当に難しいと実感している。今日は皆さんが元気に集まれて、喜ばしい。

【課 長】青梅市も新型コロナウイルス感染者が延べ 5 0 名を超えた。先週、市立小学校・中学校の児童・生徒が感染していることがわかり、青梅市立総合病院でもクラスターが発生した。体調を万全にして、日々過ごしていただきたい。

2 報告事項

- (1) 第 6 2 回全国社会教育研究大会（新潟大会）・第 5 1 回関東甲信越静社会教育研究大会について（報告資料 1）

ア 開催予定日 令和 2 年 1 1 月 1 2 日（木）～ 1 3 日（金）

イ 場 所 シティホールプラザ「アオーレ長岡」（新潟県長岡市）

【事務局】事務局から概要説明。新潟大会は通常開催は行わず、紙上開催ということになった。大会冊子を各県連等に 1 0 冊程度配布し、また、ホームページで掲載するとのことである。新潟県内の大会は行い、その様子を後日動画配信予定とのことである。

～質疑なし～

- (2) 令和 3 年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会実行委員会第 5 回実行委員会の開催について（報告資料 2）

ア 日 時 令和 2 年 8 月 2 5 日（火）午後 3 時から

イ 場 所 青梅市役所

ウ 参加者 宮野議長、事務局 和田・土屋・田畑

【事務局】事務局から概要説明。協賛金の募集については、まず、予算作成の時期である今秋に都内大学に声掛けをしていくことになった。各市町でつながりがある大学に協力依頼をしてもらう想定である。大会趣旨は、御意見をいただいて改良した。基調講演の講師については、東京大学牧野篤先生を候補者と決め、その後、牧野先生の日程を確保できた。資料のチラシは、白黒で新潟大会の冊子に載る。新型コロナウイルス感染症対応については、今後しっかり練

っていこうという話になった。

～質疑なし～

(3) 令和3年青梅市成人式について (報告資料3)

ア 日 時 令和3年1月11日(祝) 第1部 午前10時開場
第2部 午後 1時開場

イ 会 場 青梅市立総合体育館

【事務局】事務局から概要説明。社会教育委員の皆さんの御意見を参考にし、教育委員会まで通った実施内容である。開場はそれぞれ30分前。市長の式辞、議長の祝辞、誓いの言葉、恩師からのビデオレター、タイムカプセルの返還を行う。タイムカプセルの返還は第一ホールではない場所で実施するようにし、速やかな退館の流れを作りながら、密にならないように対応したい。中学校区をもとに区分けを行った。第1部の人数を少なめにし、第2部の準備が行いやすいようにした。来賓や社会教育委員等の出席についても、どういう形で実施していくか検討していきたい。

【事務局】成人式については、本日の広報に掲載し、ホームページにも掲載した。市の経営会議にも報告しており、了解を得ている。初めての実施方法であり、スムーズに実施するための検討をしていくことが重要だが、新成人が楽しめるような会にできるよう努めていきたい。

【議長】社会教育委員会議会で出た内容がほぼ通ったという理解でいいか。

【事務局】そのとおりである。

【議長】26市の開催・中止の状況はどうか。

【事務局】人数が多いところは2部制にしているようであり、少ないところはそのままのところもあるようである。各市で工夫をしているようである。

(3) 生涯学習事業実施予定・結果 (報告資料4)

【事務局】事務局から概要説明。

【議長】青梅市吉川英治記念館のプレオープニングイベントは、社会教育課も関わったのか。

【事務局】関わっていない。

(4) その他

【事務局】前回の会議で話し合った令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会の中止については、10月開催予定であった第3回役員会・拡大役員会を9月24日に前倒しして協議することとなった。

3 協議事項

(1) 青梅市社会教育委員会8月定例会会議録について (協議資料1)

【事務局】事務局から概要説明。

～承認～

- (2) 令和2年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1ブロック研修会について (協議資料2)

ア 日時 令和2年10月24日(土)午後2時～

イ 会場 奥多摩文化会館

ウ テーマ ☆統一テーマ

「開かれ つながる社会教育の推進～住みよい地域づくりに多様な人材と連携を～」

☆ブロック研修テーマ

「つながっているんだ！」

エ 参加者

宮野	金子	藤原	神山	市川	栗原	吉野	山川	横手	園田
○	○	○			○	○		○	○

【事務局】事務局から概要説明。参加者を確認したい。集合時間等は次回お伝えする。開会の挨拶は、宮野議長が都市社連協の会長として行う。閉会の挨拶は次期ブロック幹事市である青梅市が行うが、宮野議長が開会も閉会も行うのはおかしいため、別の方をお願いしたい。副議長がいいかと思うが、いかがか。

～了承～

【議長】現地には車で行けるのか。

【事務局】確認する。

【議長】電車でも構わない。出席する方はよろしくをお願いしたい。

- (3) 青梅市涯学習推進市民会議委員の推薦について (協議資料3)
任期満了(令和2年9月30日)に伴う推薦

ア 任期 令和2年10月1日～令和4年9月30日まで

イ 推薦者

【事務局】事務局から概要説明。現任は栗原委員である。継続でも問題ない。

【議長】皆さんの御意見はいかがか。

【委員】引き続き栗原委員にお願いできるといい。

～異議なし～

～栗原委員に決定～

- (4) 令和3年度関東甲信越静社会教育研究大会東京大会分科会について (協議資料4)

青梅市担当分科会テーマ「人口減少地域における社会教育」

【事務局】事務局から概要説明。本来事例発表は2市のみで、3市はワークショップ形式の予定だったが、他県連から呼んで行う事例発表を2市、1市は都市社連協内で行う等に対応することになった。青梅市の第一希望については、

他市とテーマが重なっており、また、第二希望以降の方が、第一ブロックの特色が生かされ、かつ、他県でも直面している地域が多いのではないかという意見があった。青梅市としては、第二希望のテーマで、ワークショップ形式で行っていくことになった。どのようなワークショップ形式にするかについて検討していきたい。事務局としては、ワールドカフェ形式など対話ができるような形式で行っていきいのではないかと考えている。社会教育委員の皆さんの意見を伺いたい。

【議長】 実行委員会で調整し、この結果になった。

【事務局】 現状、どういう分科会にするか意見があれば伺いたい。

【議長】 課題・問題点など、意見を伺っていきたい。小曾木地区の活動は、担い手は、新しい人材は入ってきているのか。

【委員】 同じ人がずっと頑張っている感じがあるが、七小・六中のおやじの会は、PTAの新しい人が入ってきてくれている。中心の担い手は立ち上げたメンバーとなっているのが現状。引っ越してきた若い御夫婦が入ってきてくれることもある。「バーベキューに来ない？」などと積極的に声をかけて、入ってもらえるように頑張っている。現状は、50代・60代が活躍している。

【議長】 高齢者は入ってきにくい。

【委員】 自治会の方には、事業の際には必ず三役に来ていただいている。ただ、その後に、その方たちが継続してくれているわけではない。

【議長】 人の新陳代謝がなかなかないのが問題。

【委員】 NPOの方で、子ども関連の連絡協議会等を作っており、その中に小曾木の方々が何人かいる。小曾木の女性が元気であり、その方たちと一緒に何か行っていけるといいと考えている。

【議長】 奥多摩町のブロック研修会が、伝統文化の継承などがテーマではなかったか。

【事務局】 お祭りなどの伝承文化の伝承について発表するという話である。

【議長】 奥多摩町も若い人を取り込む施策を行政がいろいろ取り組みを行っている。以前、日の出町が子どもを増やす対策をとって実際に増えていたが、奥多摩町はそうでもないような気がする。青梅市は若い人は入ってきているのか。

【事務局】 青梅市は増えていない。そこが課題である。

【委員】 スキンシップ教室が青梅市ではあり、間口としてはありがたいシステム。そこからの地域のつながりが青梅市では重要。

【委員】 2年前から担当部署が子ども家庭支援課へ移った。子ども未来が受託して、子ども家庭支援課と協力して行っている。初めてのお子さんを行っているが、第二子へのフォローも市民協働提案事業で行う予定。そういう場に来てくれれば、新しい関係を作れる。

【議長】 新しい自民党総裁の理想の国家像は、防災の自助・共助・公助。東日本大震災をまとめる言葉のようである。地域に住んでいる人が頑張りなさい、というイメージなのだと思うが、社会教育も地域づくりの中で関わっていく必

要がある。

【事務局】十分ある。社会教育の面からコミュニティを作っていくのも一つの観点から非常に重要である。

【委員】社会教育も、文化を大事にしながら、自然に多世代交流ができるというのは理想的である。

【事務局】若い人も社会教育に関わってくると良い。

【議長】今話したような切り口のテーマをきっかけにしながら、形式をどうするか話を進めていきたい。付箋を使って木を作っていくって発表するワークショップなども、いろいろ話題を出していけるのではないか。

【事務局】今の御意見をとりまとめて事務局としても具体的な案を考えていくが、他にも案があれば挙げていただきたい。

【議長】では、また次回以降、議論していくこととしたい。

～了承～

(5) その他

～特になし～

4 その他

【委員】学校での新型コロナウイルス感染症の感染者発生について説明。

【委員】感染した家族の状況で、仕事を辞めて他所に移らなければならなくなったというようなニュースを聞くが、青梅市は大丈夫か。

【委員】教育委員会でも一番重要に考えて指導している。感染は誰でも起こりうることである。情報を知りたいと電話がひっきりなし来るが、学年・個人は一切出していない。差別は絶対にしないよう、気を付けている。

【委員】やはり問い合わせはたくさんあるのか。

【委員】どこのクラスか、どこの学年かを知りたいようである。親は自分が出勤していいのか不安になるようである。

【委員】青梅市の小学校の移動教室については、御岳山の宿坊に泊まることになった。宿坊も分散して泊まる。ほとんどの学校が実施できる状況である。ただ、中学校の修学旅行は、感染状況を見ながら、9月は3校くらい中止を決めた。10月実施する学校は京都へ行ける予定である。

【議長】今、川下りが増えているようである。青梅市も感染は徐々に広がっていくと思うが、大きくならないよう願う。気を付けて生活していきたい。

【事務局】配布物について、美術館の美術展の案内、文化団体連盟の「青梅文化57号」、「とうきょうの地域教育No.140」、また購入者へ「社教情報83号」をお配りしている。放課後子ども教室は、9月に入って今井小からスタートした。新型コロナウイルス感染症に感染した児童がいた学校については先週1週間中止したが、来週3校開始するなど、様子を見ながら開催していく。